

# どくだみ草

作詞 大上澄子 清水雅美

作曲 清水雅美 大熊 啓



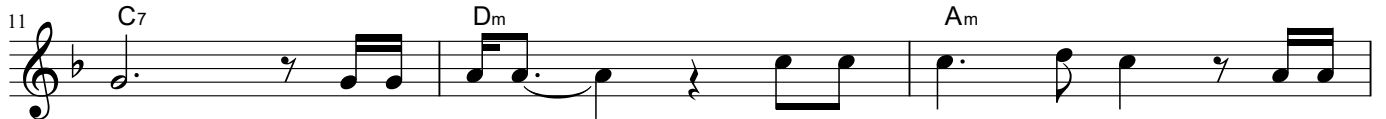
1.ここ ろが - から だ - - が ひめ いを - - あげ  
 かく - てご わ - - く あち こちに - - かお  
 ろに - から だ - - に むな しさを - - かん  
 トの - はを も - - ち しろ いはな - - さか



て いる - - そんなとき - - めを む け - る  
 を だす - - つよ い - - - - - に お い - - - - - に  
 じると - - やっ ぱり - - - - - めを む け - る  
 せ る - - - - - じぶ んの - - - - - な ま え - - - - - を



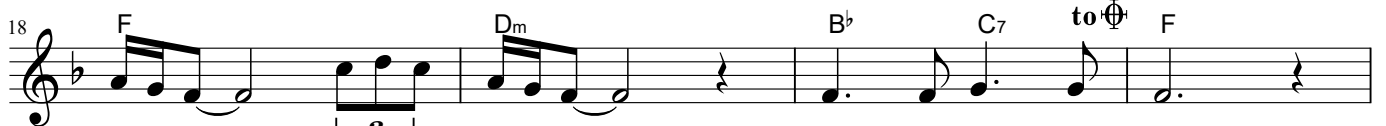
どくだみ そう ねぶ むしたちにも - - いやがら  
 どくだみ そう ハ - うらんでは - - - - - いないの



れ それでも - - りんとして さむ  
 か いつでも - - りんとして なか



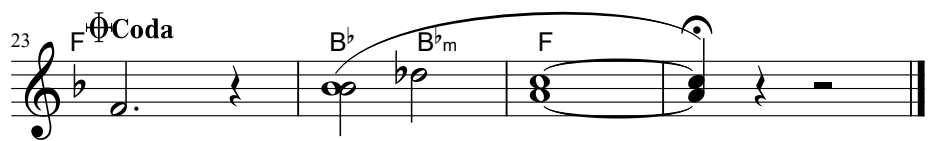
さに - - まけずに - - いきている - - よわく  
 まと - - いっしょに - - いきてい る - - あきら



なるな - - こらえられる - - だ いじょう ぶ  
 めるな - - ひとり じゃない - - だ いじょう



2.ここ



ぶ whn - -

どくだみ草

作 補 作  
曲 作 詞  
詞

大 清 清 大  
熊 水 水 上  
啓 雅 雅 澄  
美 美 美 子

心が身体が悲鳴を上げていく  
根が深く伸びて虫に顔を出す  
強さでもおりにとちもい顔が  
寒さにも負けないで生きてい  
弱くなるよぶこらえられる  
心にむなしさを感じると  
やっぱり目を向けるどくだみ草  
八つ葉の葉をもち白い咲かせ  
自分での名前をいと恨んでい  
いとつても緒に生きたりじや  
あきらめな生きたりじや  
だいきらめな生きたりじや